

# 地域再生計画

## 1 地域再生計画の名称

「互産互生」の繋がりを活かした地域商社推進プロジェクト

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道中川郡豊頃町

## 3 地域再生計画の区域

北海道中川郡豊頃町の全域

## 4 地域再生計画の目標

豊頃町は「北海道十勝地方」の東部に位置する町で、多くの農村復興を行った二宮尊徳翁の孫にあたる二宮尊親氏が中心となって興復社（こうふくしゃ）を結成し、開拓にあたった地域であり、今でも町民憲章をはじめ「報徳」の考え方が町民に広く継承されている町である。2013年度より豊頃町商工会と豊頃町が連携して、この「報徳」の繋がりをベースに、静岡県掛川市との間で「互産互生」による、特産品の相互販売及びサイクリングツアー等の相互実施を行っており、現在、掛川市内の3店舗で豊頃町の特産品が販売されているほか、人的な関係が密接になる中で、掛川市のお茶と豊頃町の小豆を使った新しいコラボ商品の開発にまで広がってきており、今後も継続・拡大していくため、地方創生加速化交付金を活用して全国の報徳関係自治体との互産互生ネットワーク構築を図る事業を展開している。

※「互産互生」とは、その地域ならではの生産物や旬を大切にし、地域間交流の取り組みにより、互いの良い物（これしか、ここしか、いましかない）を交換消費する考え方の造語。

これらの取り組みを将来にわたり地域の経済活動として定着させるためには、町が有する信用力と民間企業が有する商品開発と販売能力を一体的に活かし、地場産

品等の販売だけではなく着地型観光の推進、移住定住の促進などの人的交流と新たな雇用の創出に繋げていく必要があり、その推進母体として専門的に取り組むことができる地域商社を設立し、より戦略的に「互産互生」の取り組みを推進することで地域の活性化を図ることを目的とするものである。

また将来は、地域商社が中心となり互産互生ネットワークを拡大・形成し、特産品→ツーリズム→移住定住の交流拡大を全国の地方都市へ広げ、この繋がりで得た互産互生の商品やツアーを、首都圏や海外へ売り込むことで首都圏等から地方に新たなお金の流れをつくる。

#### 【数値目標】

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末
連携先都市・地域数	5 都市・地域	7 都市・地域	8 都市・地域
地場産品等の販売額	1,500 千円	5,000 千円	10,000 千円
ツーリズム集客数	30 人	40 人	100 人

※累計値

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

地域の構造的課題を解決するため、町が有する信用力と民間企業が有する商品開発と販売能力を一体的に活かし、地場産品等の販売だけではなく着地型観光の推進、移住定住の促進などの人的交流と新たな雇用の創出に繋げていく必要があり、その推進母体として専門的に取り組むことができる地域商社を設立し、かつ、地域商社設立初期段階を円滑に、そして効果的に実施し、地域商社の自立的な取り組みの推進を図る。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）【A3007】

#### ① 事業主体

北海道中川郡豊頃町

② 事業の名称：「互産互生」の繋がりを活かした地域商社推進プロジェクト

③ 事業の内容

本プロジェクトは、地域の構造的な課題に専門的に取り組むことができる地域商社を設立し、かつ、地域商社設立初期段階を円滑に、そして効果的に実施し、地域商社の自立的な取り組みの推進を図るものである。

具体的な取組方法は次の通り。

ア 特産品・観光・移住定住を一体化して専門的に推進する地域商社を設立する。

イ 地域商社が中心となり、連携先都市と当該地域の特産品等を相互にPR・販売し、特産品等の互産互生を推進する。

ウ 地域商社が中心となり、特産品等の互産互生の取組が一定程度進んだ連携先都市と当該地域の観光・交流メニューを相互にPRし、観光客の相互送客を推進する。なお、相互送客にあたっては、魅力的な体験・交流型観光メニューの整理・開発、Webを活用したプロモーション等に取り組む。(観光地ブランディング)

エ 地域商社が中心となり、観光等の交流人口拡大が一定程度進んだ連携先都市と連携し、その交流を深化するため、体験居住・2拠点居住を推進する。(移住定住の促進)

オ 地域資源や、これまでの互産互生ネットワークの棚卸しを行うとともに、国内外の特色ある地方都市についてマーケティング調査を行い、交流により相互に利益を生むことのできる連携先都市を選定する。その上で、町と地域商社が一体となって地方都市間の互産互生ネットワークを全国へ拡大する。

カ 複数都市と連携していくことにより、地域商社を中心に地域のハブとなって連携先都市同士の交流にもつなげる。(1対1の取り組みから、8都市であれば相互の取り組みで28通りの枠組みを目指す。)

キ 地域商社が中心となり活動することで、地域内に新たなお金の流れをつくり、地域の生産者等が儲かる仕組みを構築する。

ク 地域商社の拠点施設には、サテライトオフィス・レンタルオフィスを誘致で

きる機能を併設し、連携先都市と連携し新しい働き方を提案することで、雇用の創出と自由な発想を持った革新的な経営者を誘致する。

ケ 運輸会社と連携し、物流コスト削減を目指した互産互生輸送システムの構築について検討会議を開催し、モデル事業を実施する。

#### ④ 事業が先導的であると認められる理由

##### 【自立性】

地域商社が取り扱う特産品等販売の手数料、観光事業の手数料（サイクルツーリズム、観光地ブランディング）、自治体業務の委託料（ふるさと納税返礼制度、観光協会事務局、移住定住支援業務、施設管理）により安定財源を確保する。

##### 【官民協働】

本事業を地域商社が担うことで、経験豊富な民間事業者がコストを意識して取り組み、また、地域内の関係事業者と連携して推進することで、地域全体の活性化に繋げていく。また、地域商社設立当初の調査事業及び運営経費等を行政が支援することにより、事業収益による自立が早期に図られる。

##### 【政策間連携】

行政、民間事業者、金融機関、産業団体等が連携し設立する地域商社が核となることで、地域経済の活性化・観光ブランディング・移住定住の促進・相互送客による人的交流といった多面的な事業を一体的に取り組むことができる。

##### 【地域間連携】

連携先都市との互産互生の取り組み推進することで、互いの地域全体の活性化に繋げるものである。

##### 【その他の先導性】

特になし

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末
連携先都市・地域数	5 都市・地域	7 都市・地域	8 都市・地域
地場産品等の販売額	1,500 千円	5,000 千円	10,000 千円
ツーリズム集客数	30 人	40 人	100 人

※累計値

⑥ 評価の方法、時期及び体制

毎年度、事業毎に進捗状況を取りまとめ、豊頃町まち・ひと・しごと創生会議（産学官金労言・住民）により、事業毎に KPI の達成度を検証。次年度に向けての事業見直し等への意見を徴する。検証結果は町ホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

（1）法第 5 条第 4 項第 1 号イに関する事業【A3007】

総事業費 27,100 千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から、平成 31 年 3 月 31 日（3 ヶ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

①ロングトレイル推進事業

- ・事業の概要

東十勝（豊頃町・浦幌町）の森林・河川・海浜など、魅力的かつ個性的な自然環境と北海道開拓の歴史。文化遺産を「小道・歩道」を意味する「トレイル」という手法を用い、地域ならではの体験活動型観光の推進を図るため、モニターツアーを実施する。

- ・事業主体

東十勝ロングトレイル協議会

- ・事業期間

平成 21 年度～平成 31 年度

## ②サイクルツーリズム推進事業

- ・事業の概要

これまで事業展開してきた「こうふく観光プロジェクト」の取り組みを、南十勝地域と連携して、サイクルツーリズムの魅力を高めるとともに、さらなる交流人口の増加や地域活性化の取り組みを推進する。

- ・事業主体

豊頃町、豊頃町商工会

- ・事業期間

平成 28 年度～平成 31 年度

## ③物産販路拡大推進事業

- ・事業の概要

豊頃町の農畜産物、海産物及びこれら加工品、製造品のブランド化を図り、戦略的に販路を拡大することで6次産業化を推進する。

- ・事業主体

豊頃町物産販路拡大協議会

- ・事業期間

平成 24 年度～平成 31 年度

## 6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 31 年 3 月 31 日まで

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

豊頃町まち・ひと・しごと創生会議（産学官金労言・住民）により、事業毎に KPI の達成度を検証。次年度に向けての事業見直し等への意見を徴する。

### 7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末
連携先都市・地域数	5 都市・地域	7 都市・地域	8 都市・地域
地場産品等の販売額	1,500 千円	5,000 千円	10,000 千円
ツーリズム集客数	30 人	40 人	100 人

※累計値

### 7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、検証結果がまとまり次第、町ホームページにおいて公表する。